

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第11号

マイ・スカイ

2001年11月1日(隔週火曜日きまぐれ)発行

p(>\_<)q

発行者

編集・文責  
馳吉成正士

朝夕寒なくなってきました。気温差が激しいためか、風邪がはやりかけているみたいです。

みなさん気をつけましょうね！さて、大きな学校行事も一つ一つ終わり、気がつくとも今年もあと2ヶ月となりました。早いものです。今一度毎日の生活を振り返り、一日一日を大切にすごしてみませんか？



## 「やってよかった〜！」(1年D組・1年生全体学習；10月16日)

去る10月16日に今年初めての全体学習が行われました。小さいけど、すごく大きな一歩です。そんな1年生のみなさんから感想が送られてきました。どうぞご覧ください。

森口先生が気合いを入れていった言葉「相手を大切にしたら自分が大切にされる」この言葉が、ずっと心に残っています。私はこれからお互いに認められる関係をドンドン作っていきたいです。今日の全体学習はすごかった。私は思ったことが言えなかった。でも、最後に勇気を出していったらスッキリした。Mの一言「絶対いける。言うたら楽しいよ。気持ちいいよ。」が支えになった。

\* \* \* \* \*

私は全体学習は、発表するのが苦手で、やりたくないなあ……とっていました。だけど、みんな進んでドンドン発表するのを見て、みんないい意見をたくさん持っていると思いました。全体学習でいろんなことを知れて、やってよかったと思います。また、1年生全員に囲まれている中、授業を堂々としていたD組はすごいなあと思いました。次はC組がやるのでがんばりたいです。

この他にも「発表しなきゃみんなに自分の意見が伝わらないので、今度からは意見があれば何かな言えるようになりたいです」「1Dの子は、3クラスの真ん中でみんな意見が言えてすごいと思った」「一人一人が本当に『なくそう』と思うのであれば、差別などなくなると思う」「みんなの意見を聞いていると『自分もそうだな』と思う意見がたくさんありました。下ばかり見ず、上をめざすようにしたいです」など、たくさん寄せてくれました。載せられなかったみなさん、ごめんなさいね。

11月1日の3時間目は1Cが、4時間目は1年生みんなが主役です。勇気を出して、あ

りのままの「自分」を表現して、もう一度スッキリした気持ちになってみませんか？



しんろせんたく

# 進路選択「自分で決められるから楽しい。でも、自分で決めるから責任がある」

イキイキした先輩の姿が徳島新聞(10月21日)に出ていました。まずは読んでみてください。

2001年(平成13年)10月21日 日曜日

## 青春フォーカス

勤労学徒生活体験  
発表大会で最優秀賞  
徳島中央高校定時制3年

大崎 芳江さん(20)



### バドミントンに夢中

県内の定時制・通信制高校に通う生徒が、職場や学校での体験を発表する第五十三回勤労学徒生活体験発表大会が徳島市三内の中から最優秀賞に選ばれた。バドミントンをはじめ半年後に全国大会出場を果たし、勉強や仕事に対しても意欲的に取り組むようになった心情的変化を「先生がくれたきっかけ」と題し、聴衆に訴えかける抜群の表現力で発表した。十一月二十五日に開かれる全国大会に出場する。

大崎さんは、地元の高校を「協調性ばかり求められるのがいやで」中退。十八歳のとき、自分で授業料を払いながら勉強した

中央定時制夜間部へ転入した。それ以来、午前八時二十分から午後五時まで徳島市内の縫製工場で働き、同四十五分から九時まで授業を受けるという

ハードな毎日が続く。しかし卒業を控えた今年、かし自分はまだ燃焼しきっていない」と、単位だけを取る学校生活に物足りなさを感じ、先生の勧め

もあってバドミントン部に入部した。授業が終わった後、さらに夜十時半まで部活の練習が続く。中学のときテニス部だったものの、

バドミントンとは基本ルールから違う。思うように体が動かさず「ラケットを床にたたきつけた」ともあった。そんな悔しさをバネに、県大会で見事優勝。その後も特訓を積み、夏の全国大会でも初戦突破を果たした。

「何事に対してもあきらめがちだったそうだが、これをきっかけに「もうアカン」と思っても、あと一步踏み張れる」自信がついたという。話す言葉の一つひとつが明るく力強い。「めげるときはとことんめげるんですよ。でも頭の切り替えが早いんです」と笑った。

一九八一年八月二十八日生まれ。板野町大寺。

先日3年生で、高校生の先輩からいろんな話を聞く「進路を考える集い」を行いました。進路選択の参考になったのではないかと思います。この大崎さんもまた、自分の進路を責任持って歩んでるわけです。自分の道を切り拓いていくということは楽しいことですが、責任がともなうということでもあるのです。将来のこと、しっかり考えてみましょうね!

## タリット差別とは???

今年の8月31日から9月7日にかけて、南アフリカ共和国のダーバンという都市で、「反人種主義・差別撤廃世界会議」という会が開かれていました。この会には、世界中のたくさんの国々や国連機関、国際組織、NGOなどが参加しています。どんな話し合いをしたのかというと...

《議題(話し合いの内容)》  
人種主義・人種差別をなくしていくための予防や教育、保護のための方法、効果的救済、実際の保障

そして、どんな約束をしたかということ...

《目標(約束)》  
各国政府や国際機関が取り組む「行動計画」の採択

どうしてこんなことをするのかといえば、それはまだ世界中に差別がたっくさんあるからなのです。日本にも外国人への入店・入居拒否もあれば、アイヌ民族、琉球民族、在日コリアンへの民族教育も保障されていません。また、被差別部落出身者への就職・結婚差別も残っています。

差別に対して独自の法律をつくっている国はたくさんあります。例えばブラジルでは、結婚したり一緒に暮らすことを阻止、または妨害した場合は、2年以上4年以下の禁固刑に処せられてしまいます。

南アフリカ・ダーバンで開催中の世界人種差別撤廃会議で情報交換する日本やインドなどの活動家ら (共同)



「ダーバン2日共同」南アフリカで開催中の世界人種差別撤廃会議で、南アジアのカースト社会で最下層と差別される「タリット」(不可触民)の問題と、日本の被差別部落問題が同じ性格を持つているとして、日本、インドなどの非政府組織(NGO)が連携を強めている。会議に参加している部落解放同盟や反差別国際

「職業と門地(出自)に基づく差別」の根絶を

## 「部落問題・カースト制は同根」

# 日印NGO連携強化

差別撤廃会議

運動の関係者によると、被差別部落問題は「日本固有の問題」ともえられがちで、国際社会の認知を得るのが難しかった。が、数年前からタリットと同じ根を持つ差別だと訴えることで、世界の関心が広がっている。会議では、部落、タリットの両差別を対象とする「職業と門地(出自)に基づく差別」の根絶を、目指す文言が採択文書に盛り込まれるか微妙な情勢で、各国NGOは共同で報告集会を開くなど、情報交換を密にしている。インドのNGO「タリットの人権に関する国民運動」関係者は「タリット差別は南アジア特有のものだと思っていた。日本の部落解放運動の経験から学ぶことが多く」と説明。部落解放同盟の組坂繁之委員長は「解放同盟が取り組んだ識字教育の運動はタリットの人たちにも有効だ。差別されている各国の人たちと協力関係を広げていきたい」と話している。

ところが日本には、人種・民族差別や出身による差別、国籍・宗教に基づく差別などを犯罪として禁止する法律がありません。そんなことを知るためにも、このような会は大切なんですね。

また、この新聞記事にもあるように、世界的に部落差別は「日本だけにしかない差別」と思われていましたが、インドのダリット差別が非常によく似ているということが分かってきました。現在、ダリットの人々の生活は、一昔前の日本の被差別部落とまったくと言っていいほど一緒のようです。(パンフレットを買ってきましたので、関心のある方はお問い合わせください)

「20世紀は戦争の世紀」「21世紀は共生の世紀」と言われていたものの、もうすでに、アメリカによるアフガニスタン侵攻が行われてしまいました。本当の意味で「共生の世紀」となるためには、まだまだ私たち一人一人の努力が必要なのかもしれません。いや、きっと必要なのでしょう。人間として生まれてきて、誰もが等しく尊敬されるために、できるだけ多くのおみなさんとその努力をはらいたいと思います。私にはそれが、人間としての生き方のように思えるのです。



■第52回徳島県同和教育研究大会(県同研)が徳島

市内で行われました。私も係り(受付)があたっていたので行っていました。教育内容B(社会・自然認識)という分科会(ぶんかかい)で2日間いたのですが、2日目あんまり静か(参加者から手が挙がらず意見が出ない)なので、マイク係であるにもかかわらず手を挙げちゃいました。だって、学校の生徒をおいてせっかく勉強しに来てるのに、じっとしてたって時間ももったいないだけじゃないですかー。部落差別(じっぽうさべい)の実際について話もしたけど、そんな堅苦しいだけじゃなくって、「もっとリラックスして、『わからんことはわからん』って、何でも言えるような会にしましょう」と言ってみました。すると、そのあと何人かが続いて発言してくれたんですねー。中でもある若い女性の先生なんかは、マイクを持つ手をブルブル震わせながら一生懸命話してくれたんです。よほど勇気をふりしぼったんだと思います。何かうれしかったんですねー。こういうふうにして、少しずつがんばる仲間はずながっていくんだと思うんです。3日目も参加しました。毎年日曜日に行っている青年部会(せいねんぶかい)です。この部会は今まで参加したことがなく、初めて参加したのですが、ホンットに良かったです。知り合いの人が報告(ほうこく)のようなもの(発表)をしてくれたのですが、先の女性のように緊張しっぱなしで、それでもありのまま、笑いあり、しみりあり……その人の今まで知らなかった部分を知れたおかげで、その人を見る目がすごく変わったように思えます。何か、「自分のことも話してみたい！」って思ってしまった。いつかその人にあったら話そうーっと!



11月1日(木) 1年生・1年C組全体学習(3・4校時;体館), 性教育講演会(15:00;体館)

- 4日(日) 東公会堂祭り(終日;東公会堂)
- 7日(水) 第31回徳島県中学校同和教育研究大会(終日;鳴門中学校)
- 8日(木) 第46回板野郡同和教育研究大会(午後;土成中学校)
- 9日(金) 生徒会役員改選立会演説会
- 12日(月) 板野町学校同和教育研究会授業研究会・保護者参観(午後;板野中学校)
- 18日(日) 板野養護学校文化祭
- 19日(月)~21日(水) 3年生基礎学力テスト
- 13日(火) 3年生・3年B組全体学習(午後;体育館)